

組付要領書 及び部 品 表

Takakita

Mix

日農工特4 PオートヒッチA形キット

MX - A S

適用機種

MX 1 8 0 1

MX 2 2 0 0

MX 2 2 0 1



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**Mixソーワ用日農工特4PオートヒッチA形用部品**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。また、ご使用前にはM i x ソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

特4PオートヒッチA形の組付け

MX-A S

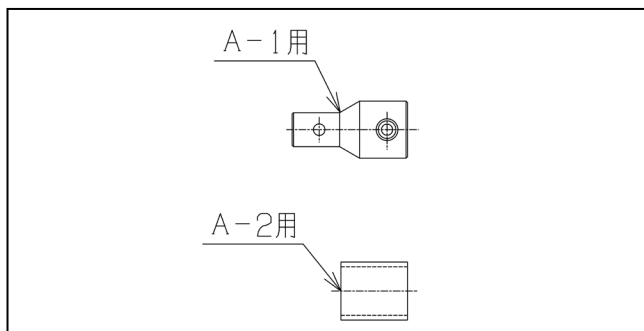
日農工特4PオートヒッチA形用部品

日農工特4PオートヒッチA形をお持ちのお客様は、次のアタッチ部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

◆組付けする前に

特4PオートヒッチA形には、A-1とA-2のタイプがあり、エンジョウジクとカラーが異なりますので注意してください。

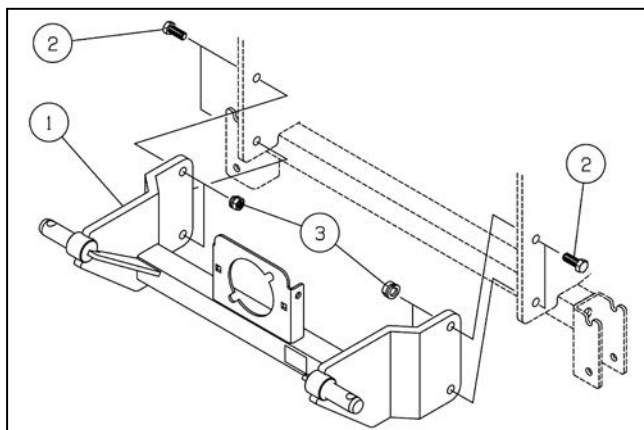
●エンジョウジク・カラーの種類



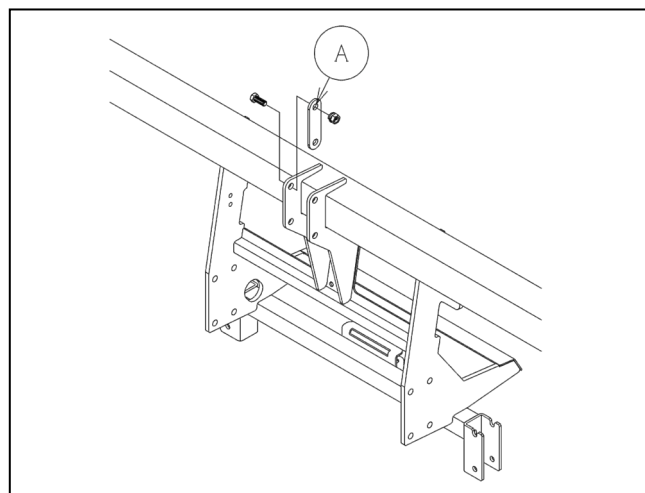
◆組付け手順

[1] フレーム関係の組付け

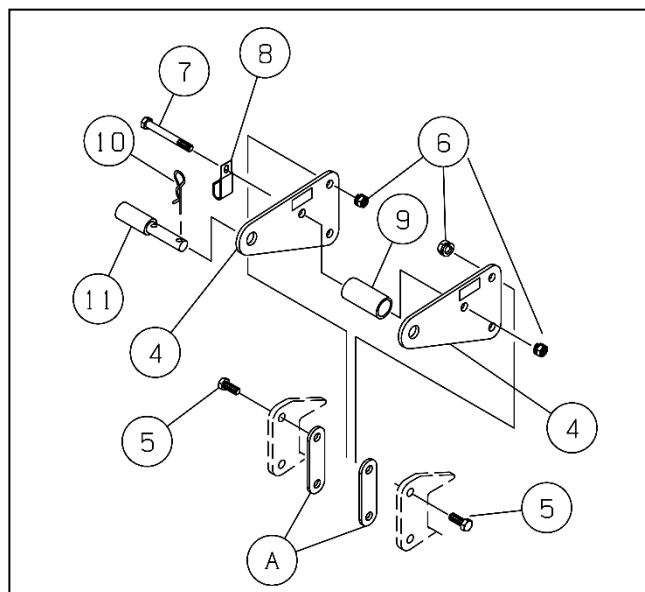
(1) ①ローリンクブラケットを本機フレーム側のローリンク部の内側に②ボルト(M12×40(8T))、③スプリングナットで組付けてください。



(2) 本機フレーム側トップリンク部の内側に付属している④スペーサー2枚を取り外してください。取り外したスペーサーは後ほど使用するため、保管しておいてください。

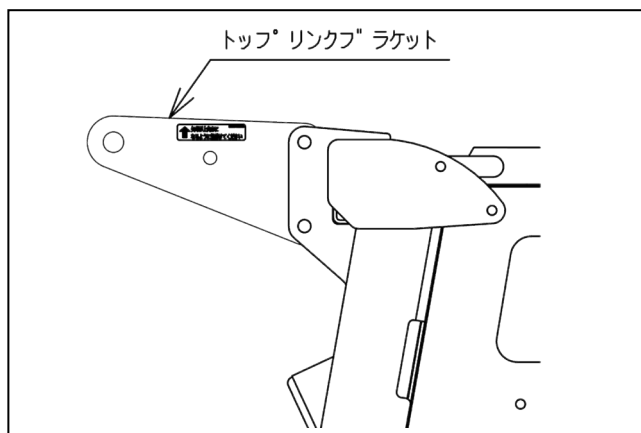


(3) 先ほど取り外した④スペーサーを間に挟むように、④トップリンクブラケットを本機フレーム側トップリンク部の内側に⑤ボルト(M12×30)で組付け、⑦ボルト(M12×80)で⑧クランプ、⑨カラーを組付け、⑥スプリングナットで固定してください。次に⑩アールピンで⑪トップリンクピンを止めてください。



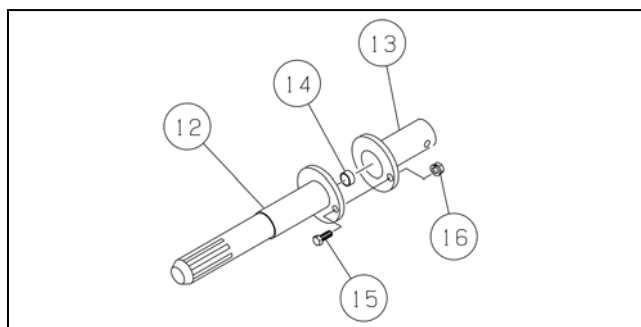
注意

④トップリンクブラケットは次の図のように、矢印が上向きになるように組付けてください。



[2] 軸関係の組付け

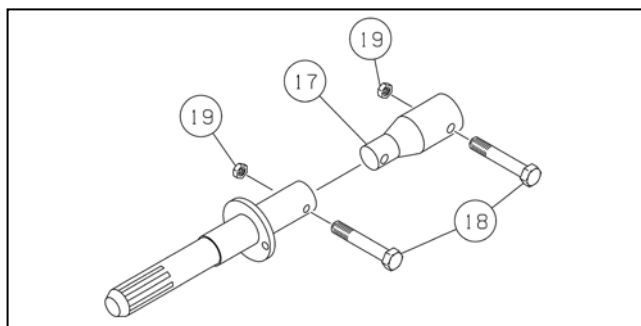
(1) ⑫スプライン入力軸と⑬シェアホイルの間に⑭ドライメットブッシュを組み付け、⑮シェアボルト(M6×25(8Tゼンネジ))と⑯ナイロンナットを組み付けてください。



(2)

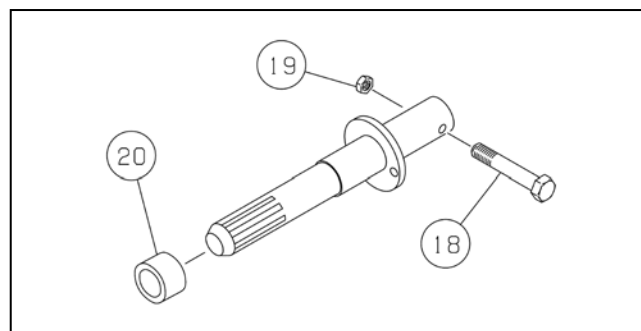
●A-1の場合

(1)で組み立てたスプライン入力軸を⑰エンチョウジクと接続、本機側の入力軸に接続し、それぞれを⑱セットボルト(M8×45)、⑲ナイロンナットで固定してください。

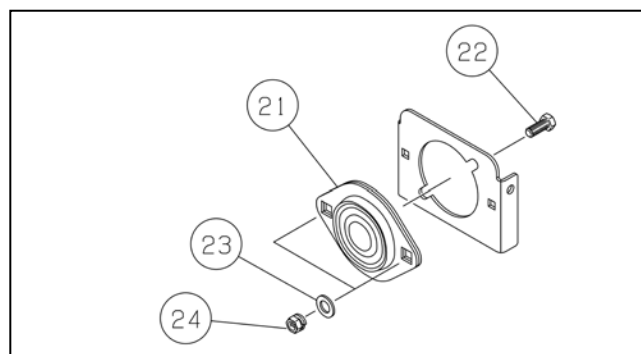


●A-2の場合

(1)で組み立てたスプライン入力軸を本機側の入力軸に接続し⑱セットボルト(M8×45)、⑲ナイロンナットで固定してください。スプライン入力軸側には⑳カラーを組み付けてください。



(3) ⑳ベアリングをローワーリンクブラケットに㉑ボルト(M10×25)㉒ヒラザガネ㉓スプリングナットで組付けてください。



注意

ベアリングを組み込む時は、スプライン入力軸がブラケット穴の中央で組付けられていることを確認してください。ズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

[3] スタンドの取付け

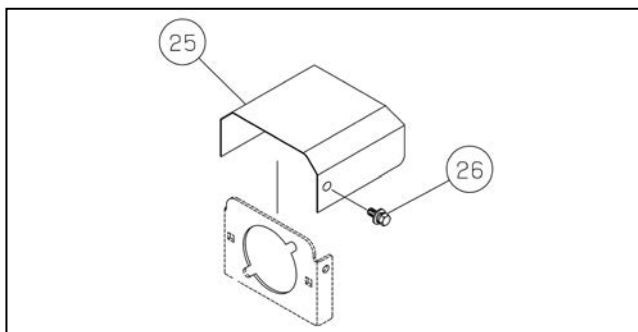
次ページの図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[4] 仮ドッキング

スプライン入力軸を手で回し、アジテータがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

[5] ジクカバーの組付け

最後に②⑤ジクカバーを②⑥ボルト(M8×20)で組付けてください。



⚠ 注意

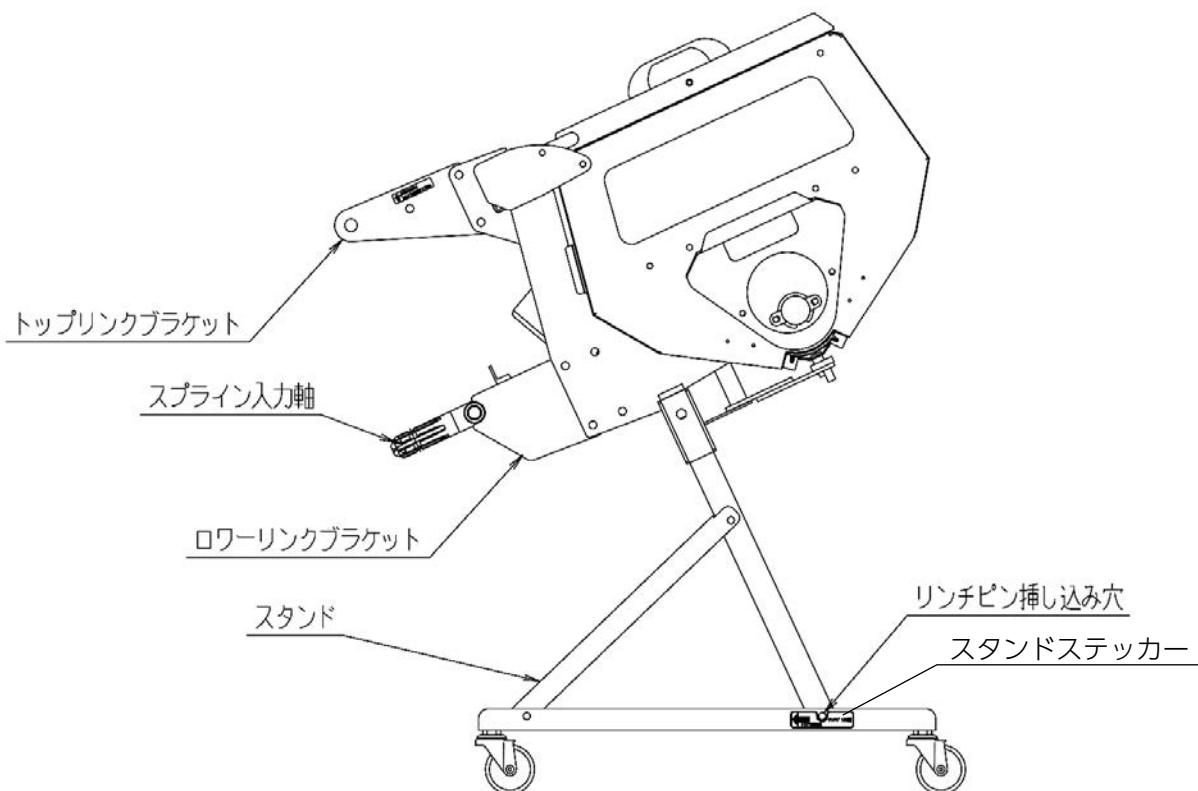
使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているかを必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

《日農工特4 PオートヒッチA形》



スタンドの組付けはスタンドステッカーの矢印が進行方向になるように組付けてください。